

特集

ステークホルダーと 共につくり、磨く教育

大学教育は多くの場合、学内の教員のみでデザインされ、改善の議論がなされてきた。

ユニバーサル時代には、

アカデミズムの枠組みにとらわれない柔軟な発想を加えながら教育プログラムを構築する必要性が増す。

ステークホルダーとの開かれた議論と協働は、

その有効な手立てとなるはずだ。

傾聴・議論・協働のプロセスが

コミュニケーションの深化と相互理解という果実ももたらすだろう。

